

関係団体からの主なご意見への対応

ご意見	対応
Ⅱ-4(4)の目標指標について、就農相談と農福連携は性格が違うので、別の目標にすべきではないか	・地域農業を持続していくためには多様な人材の活用が大切であると考えており、就農相談件数や、農業に関心のある方が農業体験を実施した件数、農福連携の取組件数などをあわせ、多様な人材に関する指標として就農相談・農業体験等の件数を設定しています。
「担い手集積率」の用語を追加したらどうか	・担い手集積率を用語とすると、一般的な農業の担い手という言葉と混同する恐れがあるため、担い手への農地集積率については、第1章2-2の注釈に記載しております。